令和５年度　社会福祉法人　東方会　事業計画　　概要

SDGs の実現

1. 差別や虐待がない地域づくり

- 人権擁護教育の継続
- マナーアップ活動の推進
- 意思決定支援計画書に基づいた意思決定支援の実施
- 身体拘束等の適正化に対する取り組み
- 新規グループホーム事業実施に伴う新人スタッフへの人権擁護教育の徹底
- 法人外における人権擁護啓発活動の強化

2. 地域の核となる法人になる

- 各種団体への参画
- 地域生活支援拠点事業
- 地域公益活動の推進
- 市町における福祉サービス格差是正を解消する働きかけ

3. 容易に揺るがない経営基盤の構築

- 感染症対応（新型コロナウイルスへの対応）
- 物価高騰対策
- 一体経営を目指した仕組みの確立
- 令和6年報酬改定への対応
- グループホームWAGEN開設に伴う事業変化への対応

4. 働きたい法人となる

- スタッフへの働きかけ
- 採用機能の強化
- 人材育成、資格取得支援
- 健康管理（抱えない介護推進）
- 業務効率化（ICTの活用・DX：ﾃﾞｼﾞﾀﾙﾄﾗﾝｽﾌｫｰﾒｰｼｮﾝの勉強）

安心と安全

サービスの質の向上

令和５年度　社会福祉法人　東方会　事業計画　　概要

1. 差別や虐待がない地域づくり

人権擁護教育の継続
■人権擁護推進責任者を中心とした活動
■体系化された研修を継続的実施

意思決定支援計画書に基づいた意思決定支援の実施
■各事業所で意思決定支援ガイドライン・実施要項確認のうえ、意思決定支援計画書に基づき支援実施に引き続き取り組む

人権擁護を目的に設置した安心カメラ導入後の評価
■人権擁護・不適切ケア・ハラスメント防止対策
■介護事故等リスク事項への対応
■苦情申し出事項への対応
■規程に基づいた適切な運用
■機器入替の検討

マナーアップ活動の推進
■委員会活動を通じて全スタッフの人権意識向上に繋げる
■マンダラチャートに基づいた継続的な取り組み

身体拘束等の適正化に対する取り組み
■体系化された研修の継続的実施
■身体拘束等解除への取り組み

法人外における人権擁護啓発活動の強化
■地域交流相談スペースを活用した地域への人権擁護活動の発信
■地域生活支援拠点を中心とした地域に向けた人権啓発活動の実施
■法人内人権擁護・教育活動の継続

新規グループホーム事業実施に伴う新人スタッフへの人権擁護教育の徹底
■新規事業開設採用に伴う職員教育の徹底

2. 地域の核となる法人になる

地域生活支援拠点事業
■地域生活支援拠点型の面的整備型として、5つの機能を基に活動する。
〇実行力のある相談支援
　災害時の相談対応／困難事例の対応　など
〇緊急時の対応・受入
　圏域外からの希望者への対応　など
〇専門的人材の確保、養成
　介護職員初任者研修・実務者研修の実施
〇地域の体制作り
　地域事業所へ相談支援事業所設立の働きかけ／自立支援協議会開催に向けて協力を行っていく　など
〇体験の機会の場
　体験利用や地域移行支援促進

地域公益活動の推進
■地域公益活動
〇生活困窮者就労訓練事業の実施
〇伊万里市地域公益活動推進協議会への参画
〇地域団体等への公用車の貸し出し　など
■地域交流活動
〇各種交流活動の実施（『事務所棟研修室』及び『地域交流相談スペースだいこくＳＵＮ』の活用）　など

市町における福祉サービス格差是正を解消する働きかけ
■市町によって福祉サービス支給の差があり、同じサービスであっても利用できない、サービス開始時期が遅くなる等、利用者に不都合が生じている。
　行政の都合ではなく、利用者本位のサービスが提供されるよう働きかけを行っていく。

各種団体への参画
■各種業界団体への積極的な加入により、早い情報収集と団体を通じての意見提言など今後のより良い法人運営に繋げていく。

令和５年度　社会福祉法人　東方会　事業計画　　概要

3. 容易に揺るがない経営基盤の構築

感染症対応（新型コロナウイルスへの対応）
■法人ＢＣＰの変更
　〇入居系施設での感染防止対策強化
　〇新型コロナウイルス５類変更時の対応
■新型コロナウイルスとの共存の模索（継続）

物価高騰対策
■サービスの質を落とすことなく以下対応をおこなう
　〇光熱水費の抑制
　〇調達資材（食材、介護用品など）コストの管理
　〇調達資材の適正使用
　〇事務消耗品の抑制
　〇業務の効率化し生産性を高め人件費の高騰を抑制
■コロナクラスター発生時の対策
　〇大規模、長期化を防ぐBCP策定
　〇ガウン等の感染防止資材の効果的使用の検討
　〇法人内事業所の事業継続措置
■法人全体でコスト抑制に取り組める仕組みづくり

グループホームＷＡＧＥＮ開設に伴う事業変化への対応
■グループホームＷＡＧＥＮ開設に伴う各事業の変更
　〇相談支援（暮らしの変化の聴き取り）
　〇ＷＡＧＥＮ（暮らしの安定・スタッフ週休３日制）
　〇ＫＩＴＥＮ、ビラ・ラズリ（一部利用者変更対応・短期入所）
　〇障害者支援施設（送迎・日中活動・短期入所）
　〇障害者就労支援センター（シャキッと　週６日稼働・送迎）
　〇ホームヘルプ（移動、通院対応・兼務体制）
　〇デイサポート（送迎・広域化）
　〇医務・給食（往診、通院・通所系変化に伴う食事提供、兼務体制）
　〇法人本部（スタッフ増加・請求・会計対応）

令和６年度報酬改定への対応
■通年の情報収集活動
■第４四半期集中対応

安心と安全
■ＳＤＧｓ活動に関する具体的取り組みを開始する
■ＢＣＰについて
　〇感染症ＢＣＰ変更　　〇自然災害ＢＣＰ
■虐待防止等不適切支援防止のための取組強化
　〇精神的虐待についての再発防止徹底
■県市町への事故報告の徹底

サービスの質の向上
■入所系重度障害者の地域移行の定着
　〇就業・社会参加・日中活動・リハビリなどの強化
■人権擁護を柱としたサービスの質の向上
　〇スタッフ教育
■意思決定支援の浸透
　〇入所での日常的意思決定支援・ＷＡＧＥＮ
■コストを意識したサービスメニューの確立

一体経営を目指した仕組みの確立
■共通①（運営規程・契約に基づいたサービス管理）検討
■共通②（会議体・委員会・研修機会の再構築）検討
■共通③（各事業所　事務機能の点検）強化
■共通④（配置基準・利用実績の一元管理）推進
■共通⑤（各種加算記録の日常的チェック体制）構築
■経営管理シートのチェックをルティーン化（各部門）
■改善起案を業績評価へ反映
■ミドルリーダの経営会議への参画
■業務管理マニュアル策定

スタッフへの働きかけ
■事業変化に伴うキャリアパスの更新
■全スタッフ　採用意識の強化
■管理職（業績管理能力の向上）
■働きやすさと生産性の両立
■職場風土（理念目的で結びつき、多様性を受入れた風通し）
■スタッフ育成
　〇利用者への感謝と、スタッフ間での助け合いを育む教育手法の確立

4. 働きたい法人となる

人材育成、資格取得支援
■定着支援
　〇グループホームＫＩＴＥＮ、ＷＡＧＥＮ勤務シフトへの対応（週休３日制）
　　→他の事業所でも導入できないか検討する。
　〇事業変化に伴うキャリアパスと人事考課システムの更新の検討
　〇男性スタッフも含めた育児休業取得推進
■管理的立場のスタッフ（グループリーダー以上）の資質向上
　〇予算策定能力の向上
■スタッフの資質向上
　〇人権意識・虐待防止の意識をさらに高め、サービスの質の向上につなげる。
■研修派遣計画
　〇オンライン研修の環境整備、並びに受講促進

採用機能の強化
■令和５年４月　高校新卒者３名採用予定

健康管理
■抱えない介護推進
　〇リフトや移乗ロボットなどの積極的活用
　　→どうしたら抱える介護を減らせるか、定期的に検討を行い実践していく。

業務効率化
■ＤＸ（デジタルトランスフォーメーション）の勉強

【福利厚生の充実】
❀ ソウェルクラブ加入

（※以下　法人独自福利厚生メニュー）
❀ 介護福祉士資格取得のための実務者研修
❀ 受験対策講座等の法人施設での開催
❀ 介護職員初任者研修の法人施設での開催、受講費法人負担
❀ ファイナンシャルプランナーによる研修（新人職員研修）
❀ サガン鳥栖法人向け年間シート活用
❀ 黄色い靴助成（健康診断2次検査費用負担）
❀ インフルエンザ予防接種
❀ 子どものインフルエンザ予防接種費用助成
❀ 職員懇親のための職員親睦会への助成
❀ 社会福祉施設従事者相互保険加入
❀ 団体総合生活補償保険
❀ 団体扱自動車保険
❀ 高齢運転者講習
❀ 割安な価格での給食提供
❀ 腰部サポートウェア「ラクニエ」の支給（瑠璃光苑・デイサポート瑠璃光苑）
❀ 法人会員フィットネスジムの利用
❀ 冬用タイヤ等の一時保管場所提供
❀ 家賃補助
❀ 社会福祉施設職員等退職手当共済制度受給
❀ 業務配慮制度（私傷病により直接介護の免除、妊娠に伴いひとり勤務の免除等）
❀ 顧問弁護士への個別相談
❀ 社会保険労務士への個別相談

など

福利厚生の充実においては、現在のメニューを継続しながら、スタッフの要望等に応じて新しいメニューの検討をしていく。

社会福祉法人 東方会

令和５年度　法人事業所事業計画

差別や虐待がない地域づくり

障害者支援施設　瑠璃光苑
年間利用者数（年間利用想定）
- 施設入所支援　延べ　14,200人
- 生活介護　延べ　12,150人
- 短期入所（併設型）延べ　1,825人
- 日中一時支援　延べ　400人

重点活動項目
「助け合い、思いやり」をテーマにチーム力強化を図る
＜介護・医務・給食　共通事項＞
- コロナ対応（クラスター対策の強化、5類化への対応）
- 日中活動新体制に伴う活動
- 物価高騰対策
- 積極的な改善活動

＜介護＞
- 人権教育（マンダラチャートの取り組み継続）
- 自己選択、自己決定の推進
- 緊急時の対応
- 忙しさの見える化

＜医務＞
- 定期通院の一元化と連携体制確立

＜給食＞
- グループホーム兼務業務に伴う給食係の業務体制確立

デイサポート瑠璃光苑
年間利用者数（年間利用想定）
- 生活介護　延べ　6,405人　一日平均利用者数　21名

重点活動項目
- 個別支援計画サイクルに準じた意思決定支援計画作成及びモニタリングの徹底
- 『かからない・持ち込まない・拡げない』標準予防の徹底
- WAGEN利用者の安定利用
- 物価高騰に目を向けたコスト削減意識
- 24時間システムを有効活用した支援管理の徹底

障害者就労支援センター（多機能型）
Jobセンター　ピシャッと
年間利用者数（年間利用想定）
- 就労継続支援B型　延べ　6,678人

重点活動項目
- 販促活動の強化（SNS活用等）
- 新規利用促進活動の継続

Jobセンター　シャキッと
年間利用者数（年間利用想定）
- 生活介護　延べ　2,584人

重点活動項目
- 新たな業務体制の確立
- 生産活動の充実（作業提供の充実と販促活動）

Jobセンター　キリッと
年間利用者数（年間利用想定）
- 就労移行支援　延べ　882人

重点活動項目
- 新規利用促進活動の継続
- 一般就労に向けた支援の強化

地域の核となる法人になる

瑠璃光苑　ホームヘルプ事業
利用契約者数（想定）
- 障害福祉：居宅介護・同行援護　60人
- 介護保険：訪問介護　3人・総合事業　2人
- 移動支援　50人

重点活動項目
- 安定的なサービス提供
- 感染症や災害時への対応力強化
- 環境面に左右されないサービス提供
- 地域資源を活用しながらのサービス提供

モーニングサポート（地域貢献事業：法人独自事業）
年間利用者数（年間利用想定）
- 伊万里特別支援学校への登校送迎・見守り支援　定員5人

重点活動項目
- 地域貢献事業としての事業継続
- 伊万里特別支援学校との連携関係継続
- 相談支援事業所、その他関係機関との情報交換、共有、連携の強化

就労定着支援　ＲｕＲｉ
年間支援対象者数（想定）
- 8人

重点活動項目
- 法人外からの利用者獲得に向けた取組み
- 雇用事業所におけるナチュラルサポート体制の構築推進

ジョブコーチ（職場定着支援）
年間支援対象者数（想定）
- 3人

重点活動項目
- 関連事業への影響力を意識した取り組み
- 関係機関との連携継続

パーソナルサポートセンター　空（くう）
年間支援件数（年間利用想定）
- 指定特定・障害児相談支援　560件
- 継続サービス利用支援（モニタリング）　1,360件
- 地域移行支援　1件
- 地域定着支援　60件

重点活動項目
- 安定的な事業所継続に向けた取り組み(新人育成)
- 法人内各部署との連携強化
- 西九州圏域サテライト立ち上げの検討

容易に揺るがない経営基盤の構築

グループホーム　ＫＩＴＥＮ
ショートステイ　ＫＩＴＥＮ
年間利用者数（年間利用想定）
- 共同生活援助　延べ　4,957人
- 短期入所　延べ　1,000人

重点活動項目
- 虐待防止・人権擁護の取り組み
- 安定的なサービス提供（制度改正に備える）
- WAGENの事業安定化に向け一体的な運営の検討と実行
- スタッフ管理の徹底・職員間の連携・情報共有の継続・職員の資質向上・新規採用の促進

グループホーム　ＷＡＧＥＮ
ショートステイ　ＷＡＧＥＮ
年間利用者数（年間利用想定）
- 共同生活援助　延べ　6,240人
- 短期入所　延べ　220人

重点活動項目
- 虐待防止・人権擁護の取り組み
- 安定的なサービス提供（制度改正に備える）
- スタッフ管理、職員の資質向上、働きたい法人となるよう勤務スケジュールの確立
- 利用者の健康管理面の支援強化

グループホーム　ビラ・ラズリ
年間利用者数（年間利用想定）
- 共同生活援助　延べ　4,080人

※夜間支援員の配置なし。障害軽度利用者を対象とする。

重点活動項目
- 安定的なサービス提供（制度改正に備える）
- 利用者の健康管理面の支援強化
- スタッフ管理の徹底、職員間の連携、情報共有の継続、職員の資質向上、新規採用の促進

働きたい法人となる

瑠璃光苑　居宅介護支援
年間支援件数（年間利用想定）
- 契約者　55人

重点活動項目
- 収入面の確保
- 法令遵守に則った事業運営
- 地域や他法人へ東方会の事業の周知

医王保育園
園児数（想定）
- 定員　50人　延べ　630人

重点活動項目
- SDGsの取り組みを通し、思いやりの心や協同性の育みを目指す。
- 人権擁護の視点から保育の質の向上を目指す
- 室内用防犯カメラを設置し、安全の強化を図る